

平成22年12月期

第2四半期決算説明会資料



共同PR株式会社

(JASDAQ:2436)

www.kyodo-pr.co.jp



Public Relations

共同PRは、企業や団体がメディアに情報素材を提供し、記事や報道として、社会に認知されるように働きかける活動を、専門家としてサポートします。

Media Relations®

PR活動は、マスコミとの良好な関係を基本としています。共同PRがそれをメディア・リレーションズ(MR)と呼び、最重要ポリシーの1つにかかげています。

Web Relations®

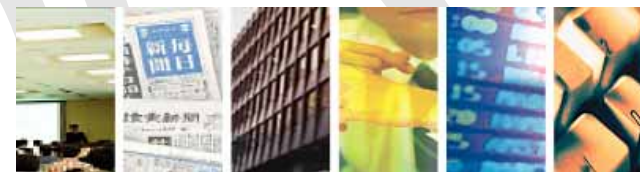
インターネットユーザーが急激に増大しています。企業が日々発信する情報も、それらの情報サイトに出来る限り多く、タイムリーに、適切な形で掲載させていくことで、戦略的に外部ゲートである入口の拡大を図る必要があります。

Investor Relations

IR活動は、PR活動と連動して初めて、投資家・株主を含むステークホルダーとの良好な関係の構築につながります。私たち共同PRは広報の専門家として、メディア・リレーションズを軸にしたPR活動を通じてIR活動をサポートします。

当期のトピックス

This year's topics of activities



～インバウンド・ブーム到来～ 中国訪日観光客誘致PR

Think of PR, think of us, KYODO PR



新潟県：認知度向上を狙った ネット・プレゼント・キャンペーン



クイズの問題

プレゼントの
紹介
(詳細は次
ページ参照)

新潟の魅力紹介
(詳細は次ページ
参照)

新潟県：プレゼントと魅力紹介

プレゼント紹介ページ

新潟の魅力紹介ページ

新潟県：ネット登録に抵抗感が無い中国・・・

- 実施期間： 2009年12月24日～2010年1月31日
- 総アクセス数： 6,793人
- ユニークアクセス数： 5,835人
- 総応募者数： 4,382人
- ページビュー： 33,583PV / 期間
- 平均ページビュー： 4.94PV / 人
- 平均サイト滞在時間： 3分40秒 / 人

1ヶ月弱という短期間であったにもかかわらず
6,000回を超えるアクセス数があった。その
うち5,835人がユニークユーザー。応募者は
4,382人。6,000人近くの中国人に対して
新潟県の基本的な情報を「読ませる」こと
ができた。

1 913

福島県：医療観光をPR

福島県の中国富裕層向けのPETツアーに関するリリース配信を実施しました。合計40媒体にリリースを配信し、転載を含め131件の記事が掲載されました。



媒体名：生活週刊



媒体名：環球時報



媒体名：STYLE

岐阜県：上海万博出展を契機に年間PR

- 共同PRでは、中国法人(共同拓信公関顧問)と共同で、岐阜県の中国でのPR活動を受託。10月に上海万博日本政府館イベントスペースで開催される「岐阜県の日」に向けて、本年5月から各種PR活動を実施してきています。以下、岐阜県発表資料から抜粋。

今年度の中国(上海)市場でのプロモーション活動内容(主なもの)

- (1) 上海国際博覧会日本館イベントステージ「岐阜県の日」の開催

開催日時： 平成22年10月23日(土)～26日(火)の4日間(9:30～22:30)

開催場所： 上海国際博覧会内・日本館イベントステージ

内 容： 岐阜の宝もの「小坂の滝」をはじめとする県内の観光資源や伝統工芸品など、岐阜県の優れた自然や文化・産業を紹介。

テーマは「水の源～清流と森林から生まれた岐阜～」。

- (2) 「岐阜県観光物産展」の開催

開催日時： 平成22年10月21日(木)～27日(水)の7日間(10:00～22:00)

開催場所： 上海梅龍鎮伊勢丹百貨

内 容： 岐阜県ブランドをそろえた観光物産展を開催。参加企業は今後公募予定。

- (3) PR事業の実施

- 「GIFU プレゼンテーション」の開催

開催日時： 平成22年10月22日(金)(予定)

開催場所： 上海市内ホテル

内 容： 「岐阜県の日」開催のプレイベント。中国メディア、旅行会社関係者等を対象に、「岐阜県の日」及び「岐阜県観光物産展」開催の告知及び岐阜県の観光、特産、食、歴史、文化等の情報を提供する。

中国メディアを対象としたコンタクト活動、ニュースリリースの実施

実施時期： 平成22年6月から随時

内 容： ニュースリリースやメールマガジン、中国語WEB サイト等を活用して、岐阜県の観光・イベント情報等を定期的に配信する。

中国メディアの岐阜県への招聘

内 容： 中国現地で記事掲載を目的として、中国メディアを岐阜県に招聘し、県内の観光地や食を実際に体験、体感してもらう。



岐阜県：7月にプレスツアーを実施

- 中国語媒体名：新旅行
- 英語媒体名：Voyage



- 中国語媒体名：旅游情報



- 中国語媒体名：俏麗
- 英語媒体名：STYLE



9月掲載予定

共同PRの業績

The financial highlight of KYODO PR



連結損益計算書要約

単位:百万円

	当第2四半期累計 (構成比)	前第2四半期累計 (構成比)	前期比 (増減率)
売上高	2,250 (100%)	2,145 (100%)	104 (4.9%)
売上総利益	1,359 (60.4%)	1,359 (63.4%)	0.4 (0.0%)
販売・管理費	1,377 (61.2%)	1,495 (69.7%)	118 (7.9%)
営業損益	17 (0.8%)	135 (6.3%)	117 ()
経常損益	25 (1.1%)	134 (6.3%)	109 ()
特別損益	2 (0.1%)	6 (0.3%)	8 ()
四半期純損益	48 (2.2%)	142 (6.7%)	94 (-)
連結1株当たり 純損益	39.32円	114.23円	74.91円
1株当たり 年間配当額	30.00円(予定)	30.00円	

【リテイナー】
1,128百万円
(対前年同期比 7.4%)

【オプション&スポット】
932百万円
(対前年同期比 +27.9%)

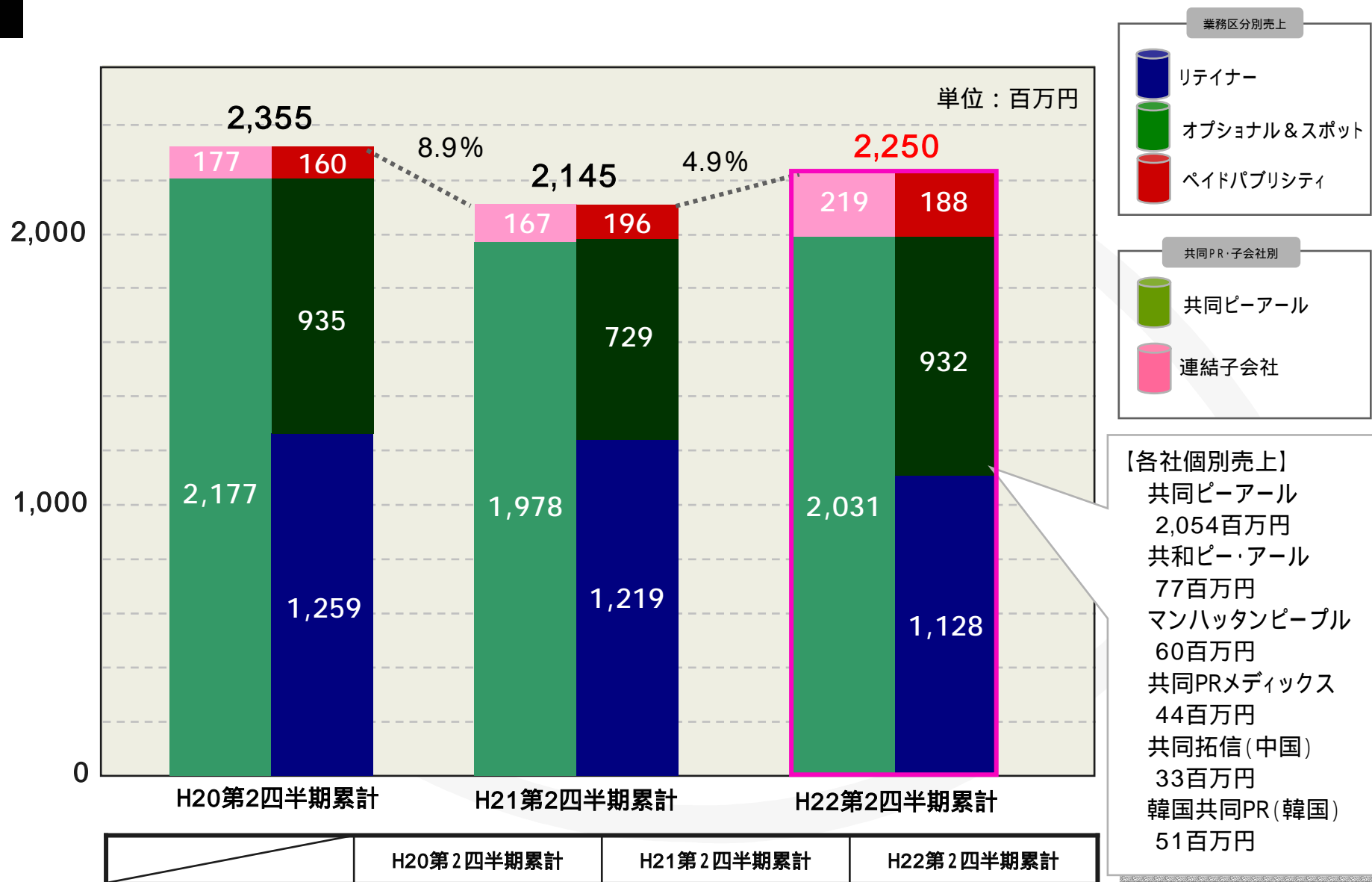
【ペイドパブリシティ】
188百万円
(対前年同期比 4.2%)

【人件費】
1,058百万円
(対前年同期比 4.7%)

【販売費】
11百万円
(対前年同期比 8.9%)

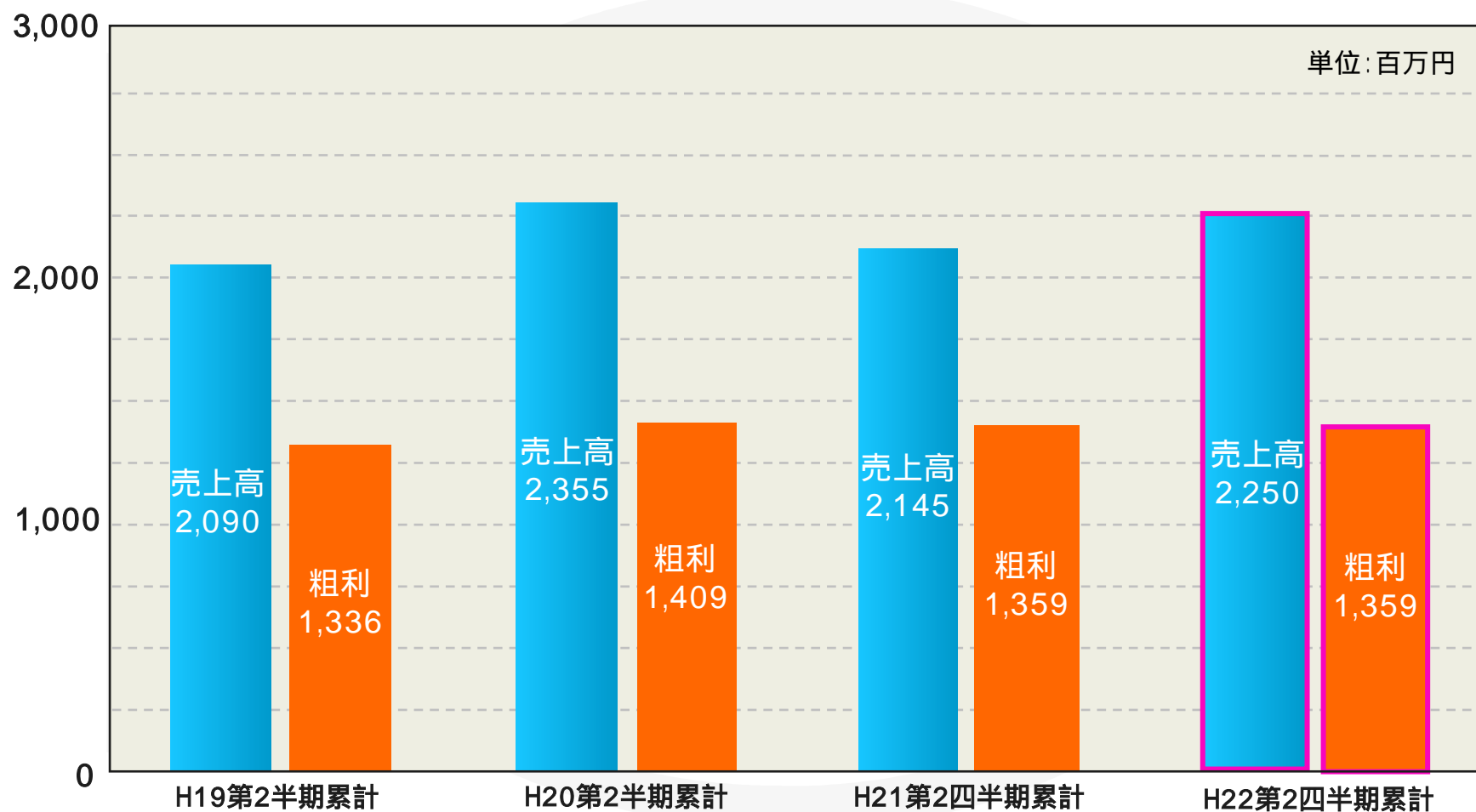
【一般管理費】
307百万円
(対前年同期比 17.4%)

第2四半期連結累計売上高

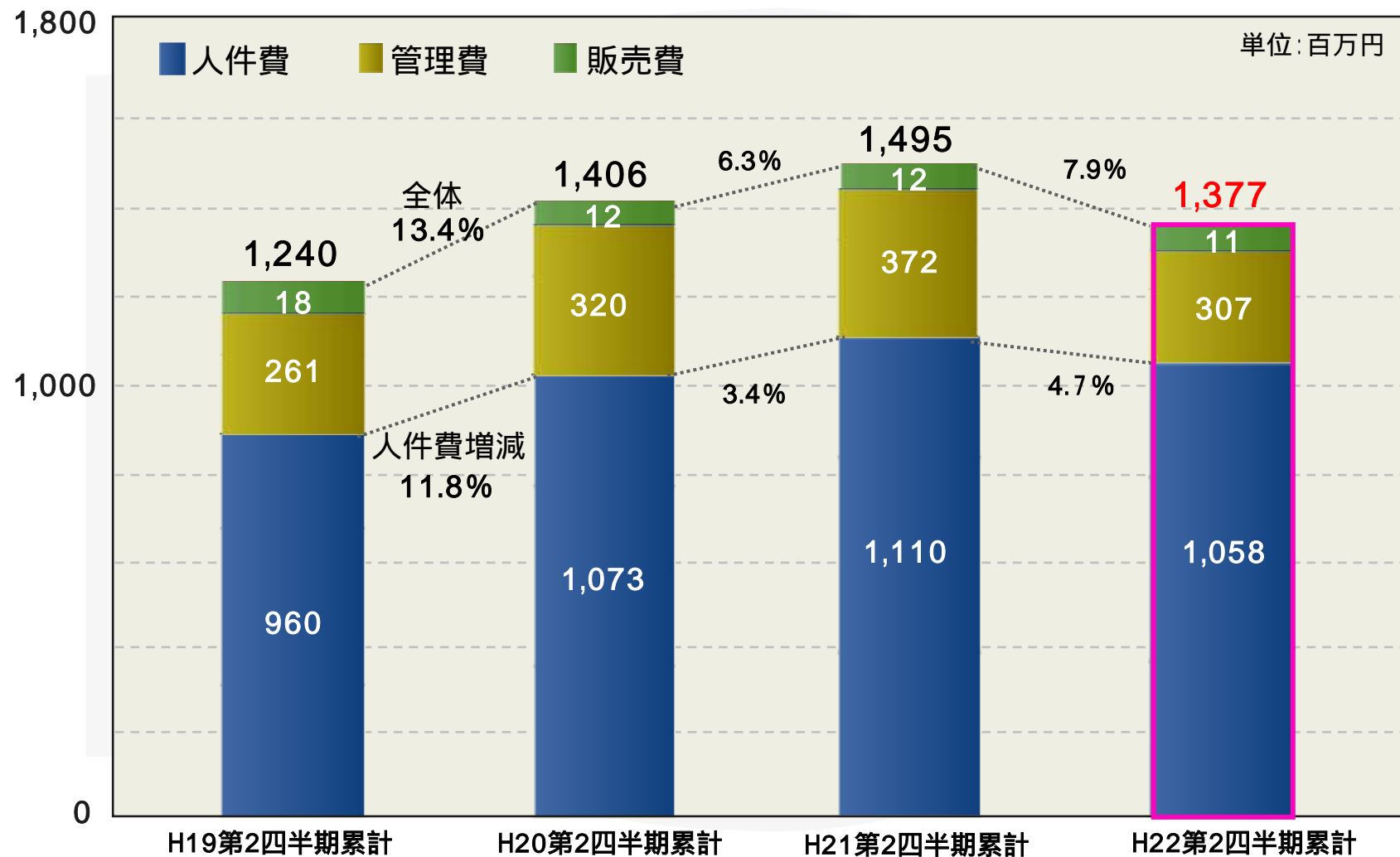


	H20第2四半期累計	H21第2四半期累計	H22第2四半期累計
売上総利益率	59.8%	63.4%	60.4%

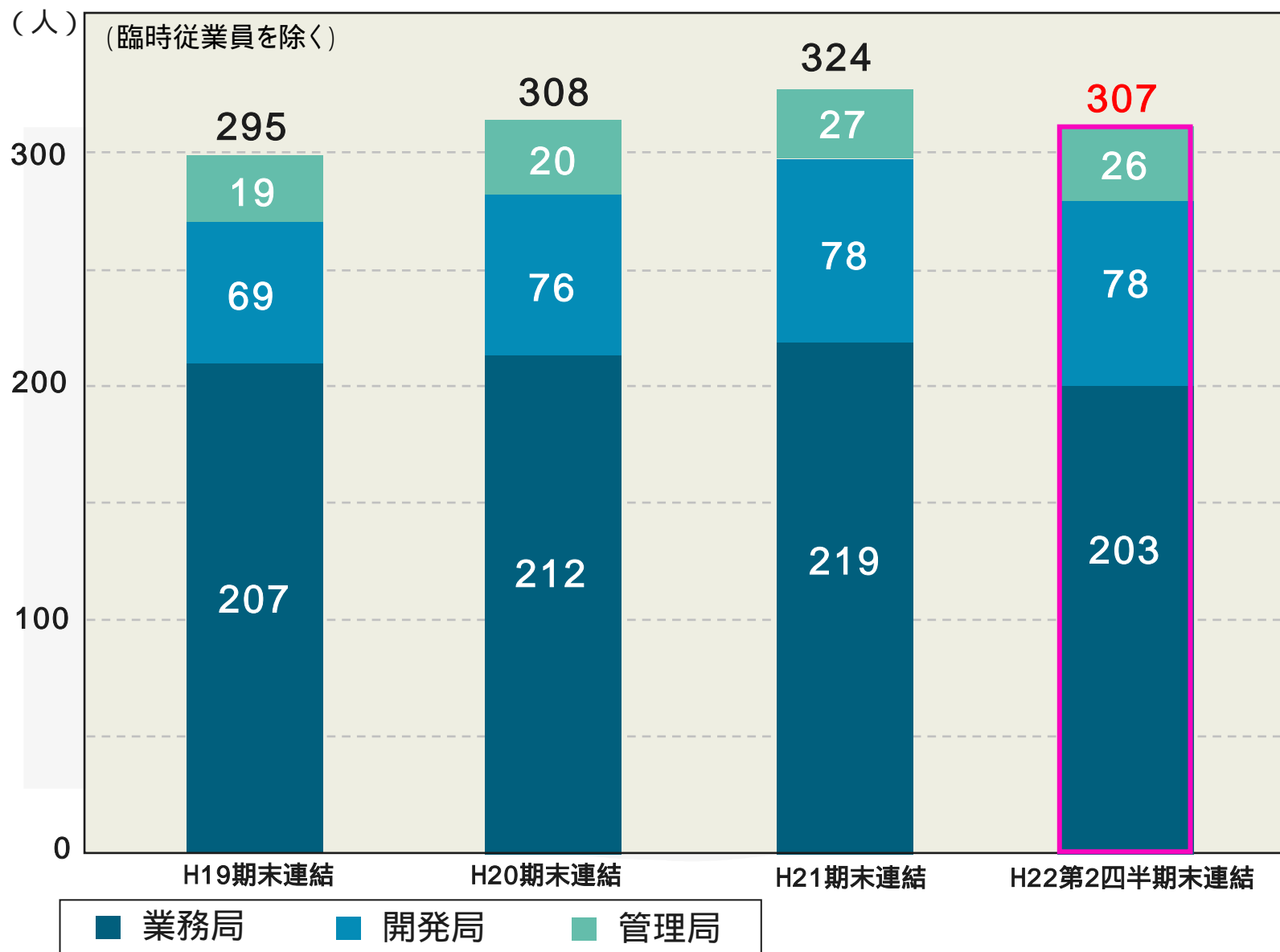
連結売上高・売上高総利益推移



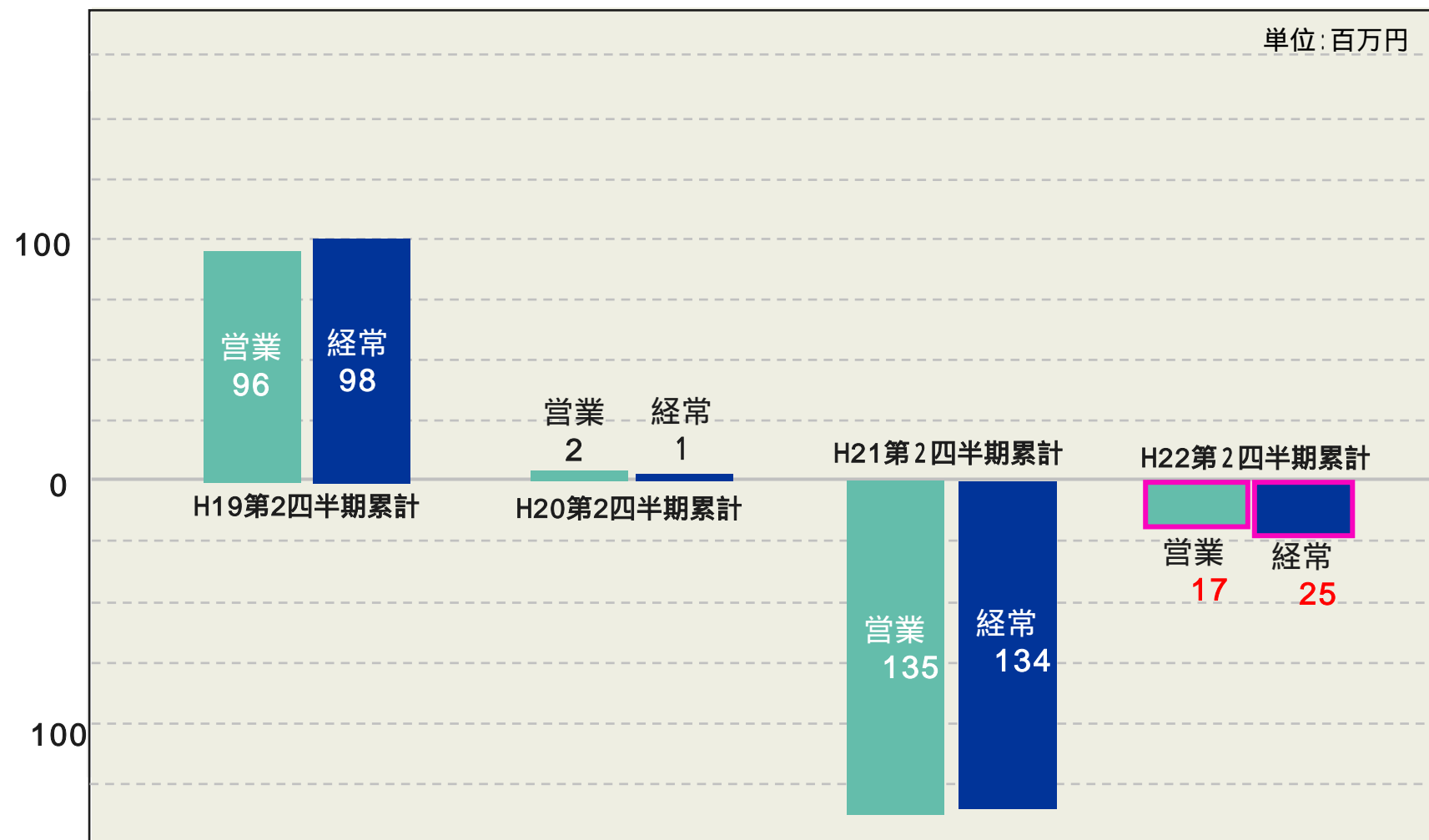
販売費および一般管理費推移



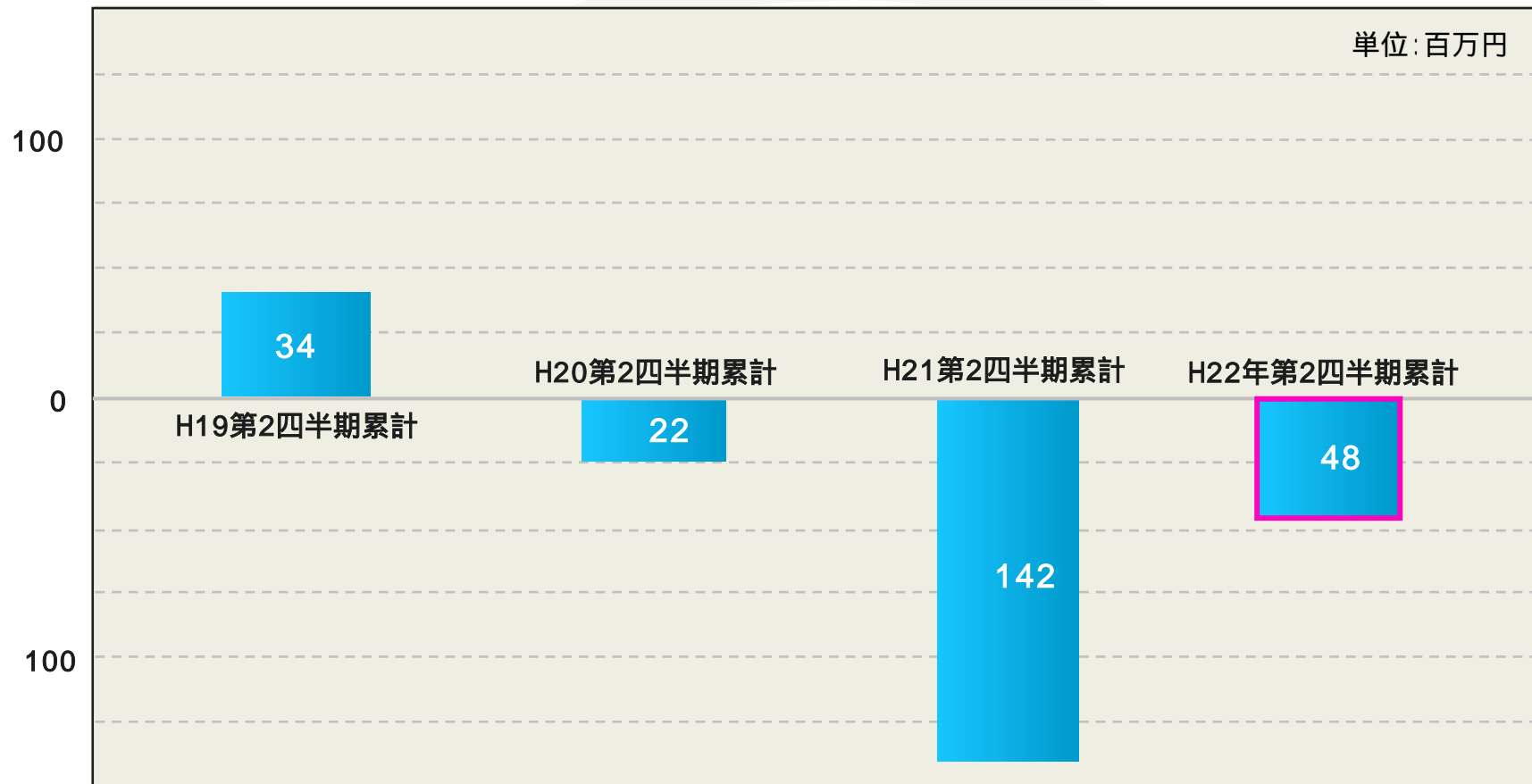
部門別スタッフ数の推移



連結営業損益・経常損益推移



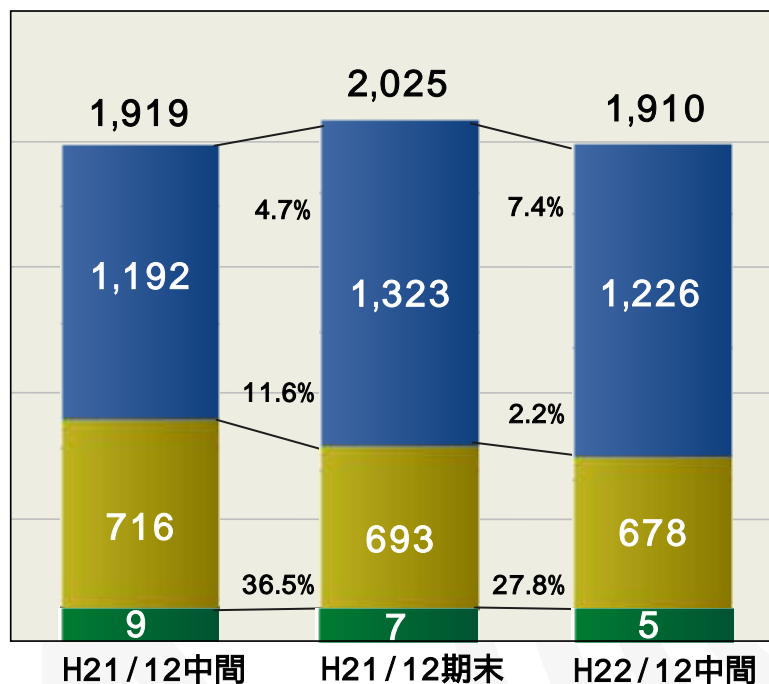
連結四半期純損益推移



連結財務の状況

資産の部

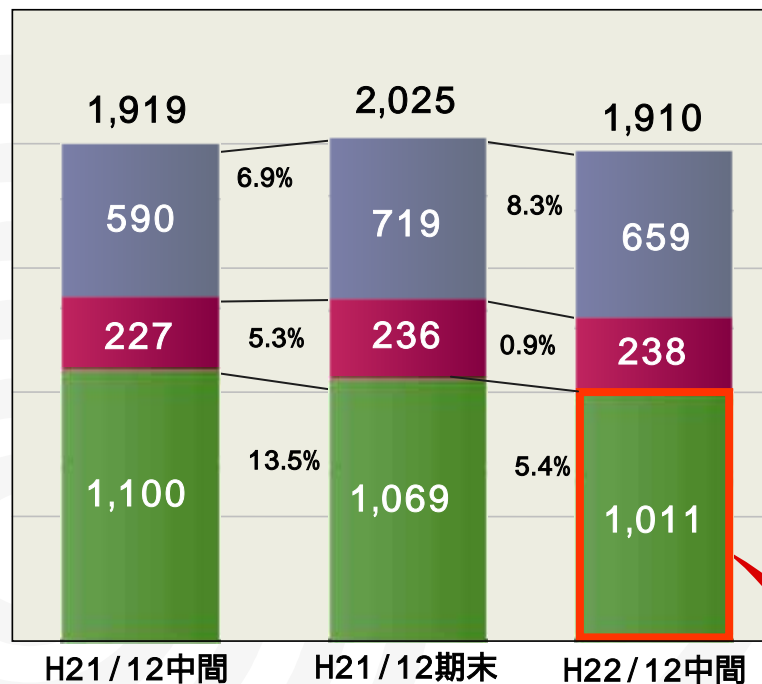
単位:百万円



■ 流動資産 ■ 固定資産 ■ 繰延資産

負債・純資産の部

単位:百万円



■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産

	平成21年中間	平成21年期末	平成22年中間	期末比
自己資本比率	57.4%	52.8%	53.0%	+ 0.2 points

- 総資産は、前年度末比115百万円減少の1,910百万円。
- 流動資産は、現金及び預金の増加59百万円、受取手形・売掛金の減少77百万円等により前年度末比97百万円減少の1,226百万円。
- 流動負債は、買掛金の減少21百万円、短期借入金の減少27百万円等により前年度末比59百万円減少の659百万円。
- 純資産は、四半期純損失、配当金の支払い等による利益剰余金の減少67百万円等により前年度末比57百万円減少の1,011百万円。

キャッシュフローの状況

単位：百万円

	前第2四半期 連結 累計期間	当第2四半期 連結 累計期間	増減	
営業キャッシュフロー	99	107	207	営業CF増減要因 税前損失 23 売上債権 + 75 仕入債務 21 たな卸資産 + 50 減価償却費 + 17 法人税 21
投資キャッシュフロー	48	1	46	投資CF増減要因 固定資産取得 0 投資有価証券 2 敷金の回収 + 0
財務キャッシュフロー	170	45	215	
現金および現金同等物	532	459	72	
フリーキャッシュフロー	147	106	253	財務CF増減要因 短期借入金 27 配当金支払 18

H22連結業績予想

	H21年通期実績 (A)	H22年通期予想 (B)	対前年実績 (B) - (A)
売上高	4,293	4,648	354
(リテイナー)	2,437	2,499	62
(オプション&スポット)	1,520	1,766	246
(ペイドパブリシティ)	335	381	45
販売費及び一般管理費	2,934	2,858	76
(うち、人件費)	2,235	2,189	46
営業損益	133	87	221
経常損益	132	84	216
当期純損益	152	2	154

H22下期予想数値

【リテイナー】

1,371百万円

(対上半期 21.5%増)

【オプション&スポット】

834百万円

(対上半期比 10.6%減)

【ペイドパブリシティ】

192百万円

(対上半期 2.3%増)



ご清聴ありがとうございました。

Kyodo Public Relations Co., Ltd.

本資料に関するお問い合わせ先

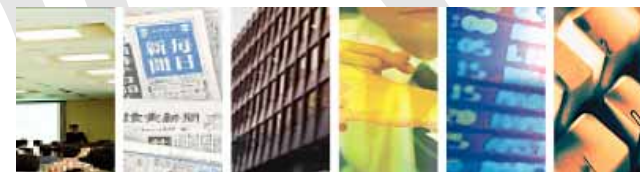
info@kyodo-pr.co.jp

03-3571-5172

【ご参考資料】

共同PRの概要

The outline of KYODO PR



会社概要

設 立 年 月 : 1964年11月14日

資 本 金 : 4億1,990万円

代 表 者 : 代表取締役社長 大橋 榮

役 員 数 : 取締役9名、常勤監査役1名、非常勤監査役2名

従 業 員 数 : 259名(単体)、307名(連結)

他、業務委託顧問 等: 若干名(平成22年6月30日現在)

連 結 売 上 高: 4,293百万円 (平成21年12月31日現在)

連 結 経 常 利 益: 132百万円 (平成21年12月31日現在)

連 結 子 会 社 : 共和ピー・アール株式会社、株式会社マンハッタンピープル、
株式会社共同PRメディックス、共同拓信公関顧問(上海)有限公司
韓国共同PR株式会社

海 外 拠 点 : 北京、上海、ソウル、ブリュッセル(ベルギー)

本 社 : 〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22

TEL 03-3571-5171(代表)

ホ ー ム ペ ー ジ : <http://www.kyodo-pr.co.jp/>



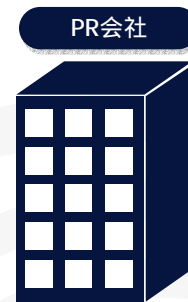
ビジネスモデル

“ニュース素材”のメーカー

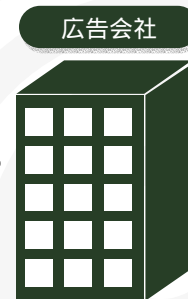


記事と広告の違いについて

PRは
“Public Relations”
 の略ですが、
 日本では広告との違いが
 うまく認識されていません。



掲載促進
 情報提供

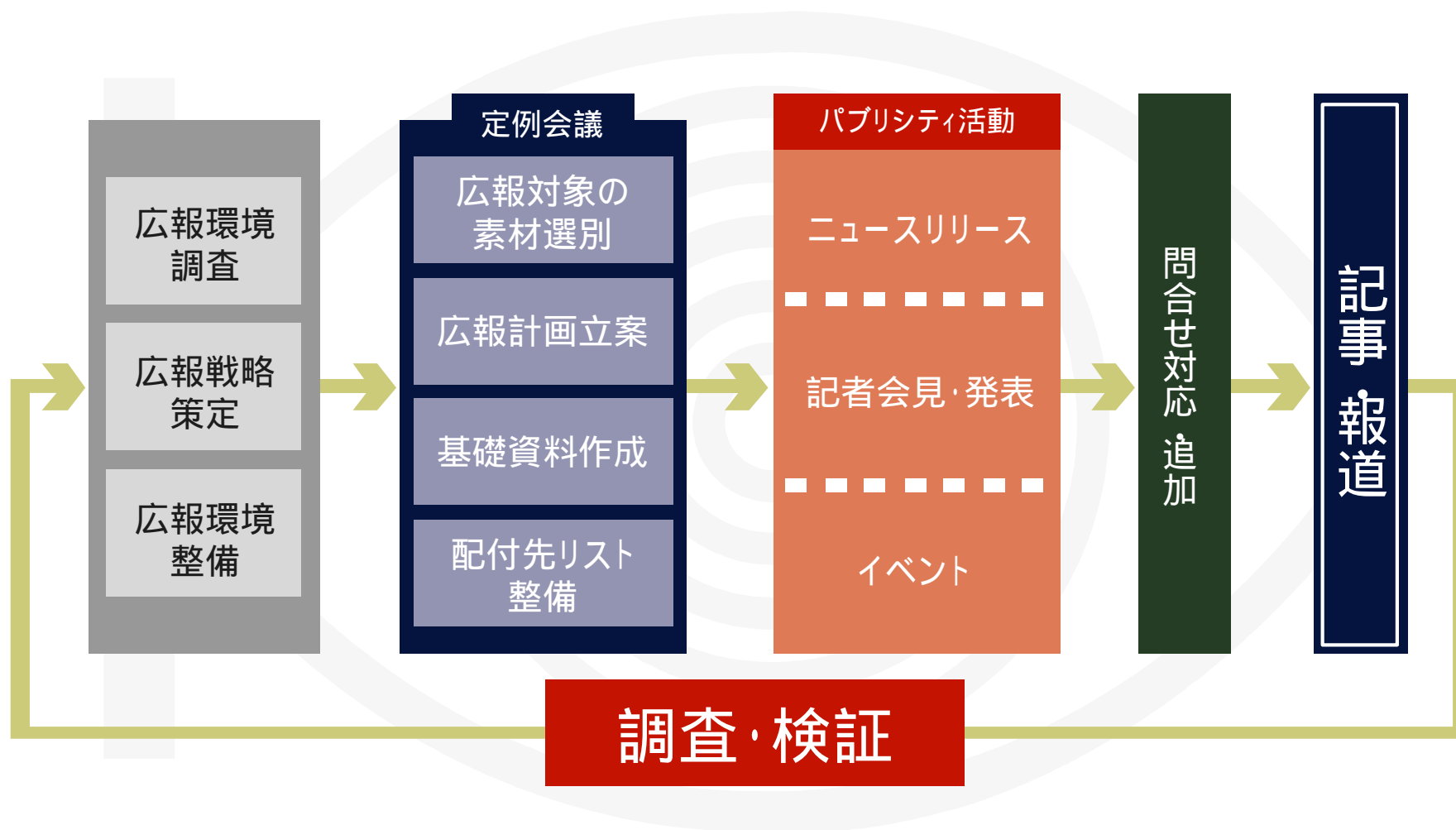


メディアプランニング
 メディアバイイング

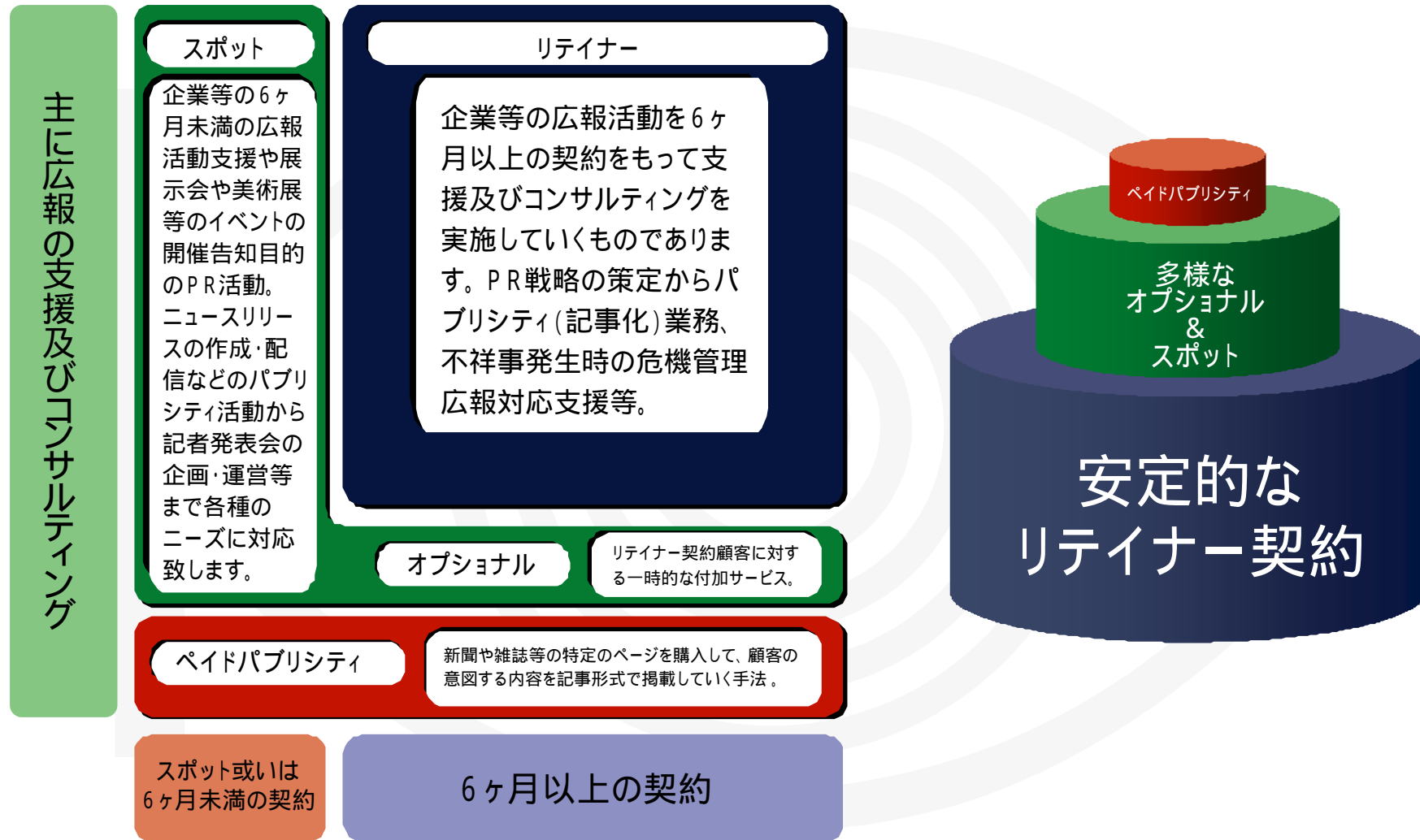


	記 事 (パブリシティ)	広告 (アドバタイジング)
担当部門	報 道 局 / 編 集 局	広告局
掲載面	記事(報道／ニュース、番組内)	広告スペース (CF)
情報発信主体	マ ス コ ミ 側	広告出稿者
情報の特性	客 観 的	主観的
情報内容の基準 (傾向)	事 実	イメージ
情報のリピート性	▼ 低	▲ 高
内容の信頼度	▲ 高	▼ 低
費用対効果 (ROI)	▲ 高	▼ 低

パブリシティの全体図（基本業務フロー）

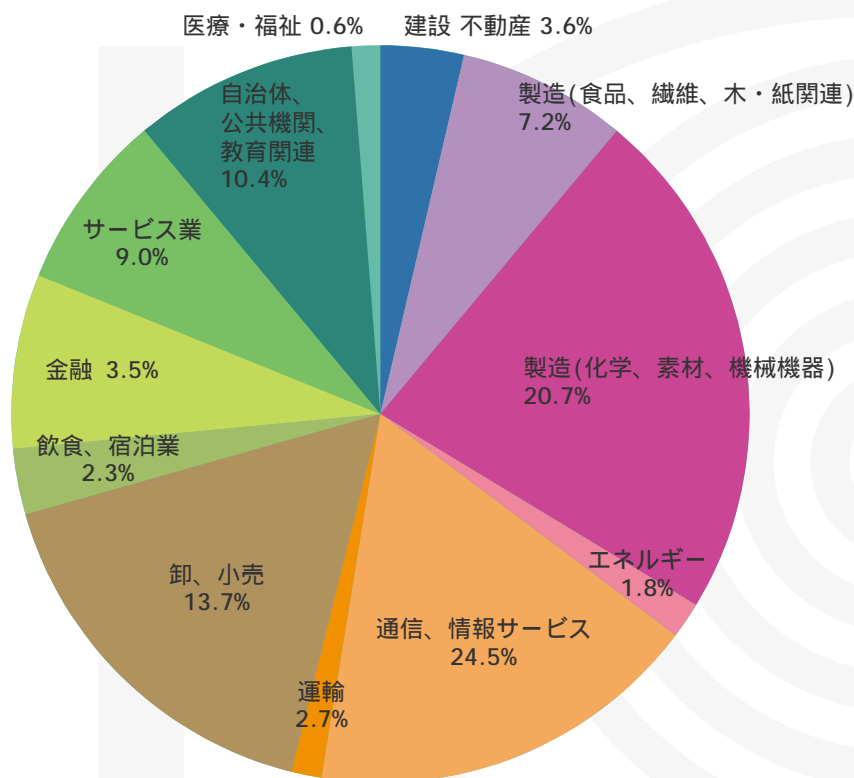


PR事業の業務区分の関係図



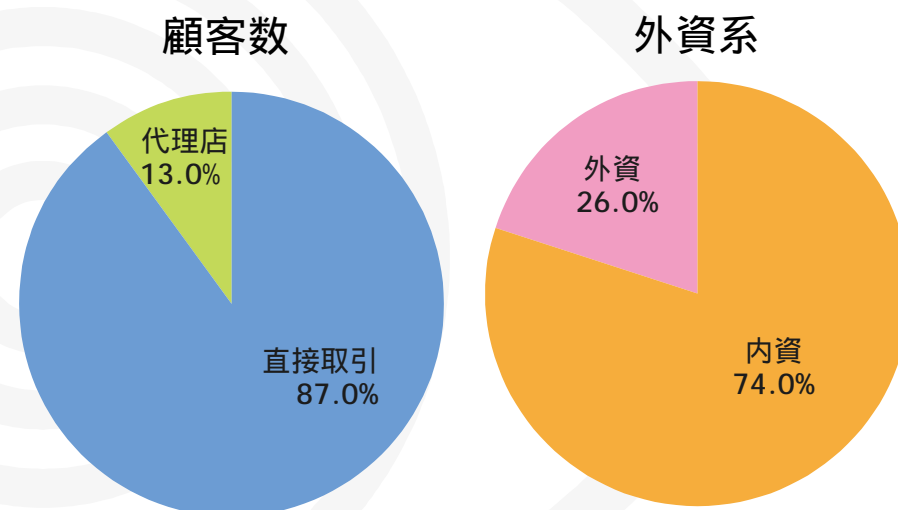
偏りの無いバランスのとれたクライアント構成

<リテイナー業種別売上構成> H22年6月末 単体



当期は、前期末と比較し、リテイナーの契約件数並びに売上構成に大きな変化は無い。

<リテイナー顧客獲得経由と外資系の件数> H22年6月末 単体



前事業年度末は直接取引 83.7%、代理店経由16.3%

前事業年度末は内資72.8%、外資27.2%

PR活動のさまざまなシーン



ニュースリリースの作成・発信



記者発表会



社長・人物インタビュー



公募・プレゼントパブリシティ



メディアキャラバン



取材誘致



プレスセミナー

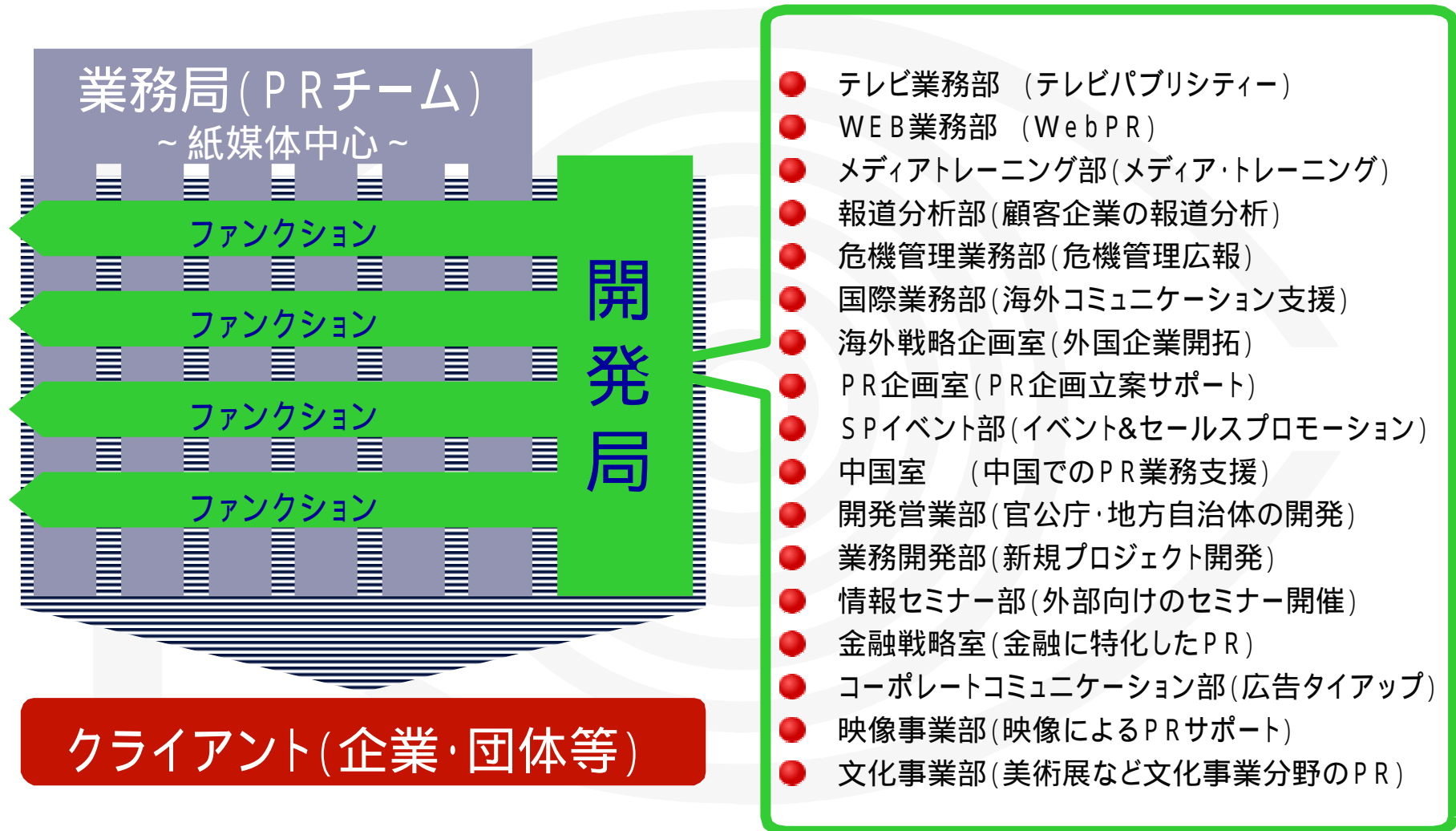


PRイベント



クリッピングモニター その他

開発局の様々な部署とその業務内容



共同PRの特徴と強み

特徴

1. 国内のPR業界最大手の1つ
2. 長期契約が多く、安定した経営基盤で着実な成長が期待される
3. 偏りの無いバランスのとれたクライアント構成


強み

1. 徹底したメディアリレーションズ（MR）戦略
2. グローバルなオペレーション体制
3. 質の高い総合サービス提供体制

テレビパブリシティ、Web PR、メディア・トレーニング、海外業務、教育、報道分析、セールスプロモーション など



グローバルなオペレーション体制

- 
- 中国(上海)と韓国(ソウル)に現地法人を設立しアジアでのネットワークを強化
 - ベルギー、ドイツに欧州クライアント開発拠点
 - グローバル・サイトでのマーケティング
 - 各世代に英語堪能者を配置

各国のPR会社との連携

- ・BELGIUM
- ・CHINA
- ・DENMARK
- ・FINLAND
- ・FRANCE
- ・GERMANY
- ・GREECE
- ・HOLLAND
- ・IRAN
- ・IRELAND
- ・ITALY
- ・KOREA
- ・PORTUGAL
- ・POLAND
- ・SWEDEN
- ・SPAIN
- ・UK
- ・USA

本資料の取り扱いについて

- 本資料は弊社の事業及び業界動向について、弊社による平成22年8月23日現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は様々なりスクや不確定要素が内在しております。
- 既に知られたもしくは今だに知られていないリスク、不確定要素、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。弊社は将来の展望に対する表明及び予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、更に悪いことも有り得ます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて弊社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。